



発行所

山形県立寒河江工業
高等学校PTA
山形県寒河江市緑町148
電話(86)4278

第77号
令和3年3月3日

今年の思い出



平素より皆様にはPTA活動に多大なご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

また、新型コロナウイルスの影響により、生徒、先生方、そして保護者の皆様のご協力とご苦勞に心より深く感謝申し上げます。

本年度のPTA活動につきましては、感染症拡大の影響を受け、春休みから休校状態がしばらく続き、異例づくしの始まりでありました。学校行事やPTA活動も諸々の予定が中止となつてしまい、本校での活動を楽しみにしていた方々も、大変残念に思つたことと思ひます。



PTA会長

土田 寛之

具体的に取り組んでいきたくて考えております。

さて、新型コロナウイルス感染症の影響により子供たちを取り巻く環境が激変しています。学習の遅れ、遠隔授業、教育格差、九月入学問題など、新たな課題が顕在化された一年となりました。これから先、世の中はどのようなふうになるのでしょうか。そのことについて様々予測されていますが、社会は既に急速に変化しています。そうした変化への対応としてよく耳にしていたことは、人間の強みを活かすこと、人間の能力を発揮すること、人間性があることではないかと思ひます。

文部科学省から出されたレポートには、人間の強みについて「板挟みと向き合つて調

各専門部より

今年度を振り返って

総務部部長 佐藤 尚史

令和二年度の活動を振り返るうにも何が残つたのだろうかという思いがたつたのだらうという。コロナ禍で、研修会運営事務局を担うはずだった村山地区PTA研修会が中止になり、地区PTA活動や寒工祭への支援なども全く実施できませんでした。そんな中でも手探りの状態でPTA活動を支えてくださった先生方や、ご協力いただいた役員の方々に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

私たちが直面しているこの災禍は間違いない世界史に残るべきこととす。未だ終息の糸口すら見えない状況ですが、後に自信を持つて振り返ることのできるような今の生き方を、私たち大人が手本として子どもたちに示さなければなりません。また、活動の空白によって保護者の皆様のPTA活動に対する考え方が微妙に変化しているのではな

今年度を振り返って

育成部部長 川村 仁

今年度のPTA活動も残りわずかになりました。本来であればこの一年間を振り返り思い出しますが、お察しの通り、新型コロナウイルスの影響で各種活動の自粛や中止となりました。今年度の育成部の主な活動である「マナーアップ運動・登校時一声運動」での校門であいさつ運動している先生や保護者の方に大きな声で挨拶する生徒達や「寒工祭神輿の祭典」での意気盛んな生徒達の姿を観る事が出来ず残念でなりません。又、「地区」ことの奉仕活動も中止になりました。来年度はコロナ禍が収まり自然災害も無く生徒たちが元気に通えるよう祈るばかりです。

最後に三年間育成部を務めさせて頂きお世話になりました先生方やご協力頂いた保護者の皆様へ感謝申し上げます。

今年度を振り返って

文教部部長 奥山 俊憲

今年度は、コロナ感染状況により、さまざまな行事が中止となりました。文教部の活動はPTA新聞発行のみとなりました。今、振り返れば、子供と共に学校生活やPTA活動、三年間あつた二年生になり、副部長という役職になり、いろいろな場面での周りの方々と接する事が増え、行事に参加させて頂く事に聞かせて頂き私自身、素直に経験、また成長させて頂けた事、心から感謝申し上げます。

これまで、御指導頂きました先生方や役員の方々の御世話になりました事に感謝申し上げます。寒工高、PTA新聞に御協力頂きました事、本当にありがとうございました。

一学年を振り返って

一学年担任 高橋 直人

この一年を振り返ると、コロナウイルス感染症予防を徹底しながらの学校生活でした。四月の入学式は時間を短縮するなどの対策を行い、無事挙行することができ、新入生一〇八名を迎えました。初々しさが残るフレッシュな姿が印象に残っています。

しかし、コロナウイルスの影響で実際に学校へ登校できたのは五月上旬になつてからのことでした。マスク着用で密閉・密集・密接に気を配りながらの学校生活はこれまでと違うものとなりました。式典では校歌を声に出して歌うことができ

なかつたり、寒工祭などの学校行事が中止や延期となつたり、部活動の大会も大きく制限されることとなりました。そのような学校生活の中でも生徒達はものづくりを通してたくましく成長してくれています。

このようなコロナ禍の中でも、生徒一人一人の進路実現に向けて一杯取り組んでもらいたいと思ひます。そのためには保護者の皆様のご理解とご協力が必要になると思ひますので、今後ともどうかよろしくお願ひいたします。



保護者の皆様には、日ごろより本校の教育活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、本校の悲願であった新校舎改築事業については、改築事業者も決まり順調に進んでいるところですが、事業者（グループ）の中には、本校OBが活躍している企業も多く、時代の進展に呼応した夢のある学校づくりを同窓生と共に作りあげていく心遣いが感じられます。令和四年度に着工し、令和六年四月からの供用開始が計画の大きなポイントです。現在は、基本設計の中で、新校舎の模型や図面を見ながら、レイアウト等の確認や調整を県や事業者と打合せながら進めています。

新時代を築く人材育成、そのための改築整備事業



校長 高橋 良治

がら行っており、本校の節目となる創立六十周年記念式典は、この新校舎での開催となればと考えているところです。

今年度は、新型コロナウイルスの感染症拡大に伴い、全国一斉の学校休校、部活動やものづくり関連の大会、寒工祭も軒並み中止となるなど大変な一年となりました。コロナの影響を大きく受ける生活が続いています。医療現場の過酷さに思いをはせば仕方のないことだと思います。社会の情勢に寄り添って活動していく、社会に役立つものづくり、感謝されるものづくり

へと更なる発展を遂げたい。生徒たちは、コロナ禍でも『輝くエンジン』となるために『情熱』『挑戦』『変革』そして『極める』をスローガンとして、社会に役立つ真剣なものをづくりと希望進路実現につながる活動に精励しております。その様子は、プロモーションビデオとしてまとめ、本校のwebページでも紹介していますので是非ご覧ください。そして、今後とも本校の活動にご注目いただき、変わらぬご支援とご協力をお願いいたします。

地域に愛され、新時代を展望できる工業高校

総務部

令和二年度

学校評価アンケート

総務部部長 宇野 秀俊

会員の皆様からアンケートにご協力いただきありがとうございます。

概要は次のとおりです。

○データ比較等の観点から前年度と同じ内容で実施しました。回収率は保護者が九二・一％、職員は一〇〇％でした。

○保護者の評価が高かった項目は③で、コロナ禍の影響もあり全体的に昨年以上の好転傾向がみられました。教員の評価は、⑦⑨⑩⑪が高い評価でした。

今後、記述部分も含めて結果を分析し、来年に活かしていきます。

●設問に対する評価

- 5 満足(十分)
- 4 概ね満足(概ね十分)
- 3 普通
- 2 やや不満(やや不十分)
- 1 不満(不十分)



①全体PTA関係（総会・学年PTA等の取り組みはどうでしたか

	5	4	3	2	1	未回答	平均値	前年比
保護者	16%	21%	57%	5%	1%	0%	3.4	▼0.3
教員	11%	31%	47%	11%	0%	0%	3.4	▼0.3

②地区PTA関係（地区懇話会・ボランティア等）の取り組みはどうでしたか(コロナ禍で実施しませんでした)

	5	4	3	2	1	未回答	平均値	前年比
保護者	0%	0%	0%	0%	0%	100%	0.0	▼1.8
教員	0%	0%	0%	0%	0%	100%	0.0	▼3.8

③学習指導（授業・定時考査・課題等）の取り組みはどうでしたか

	5	4	3	2	1	未回答	平均値	前年比
保護者	16%	32%	45%	6%	0%	0%	3.6	▼0.1
教員	17%	47%	28%	8%	0%	0%	3.7	△0.4

④お子さんの家庭学習への取り組みはどうでしたか

	5	4	3	2	1	未回答	平均値	前年比
保護者	11%	21%	32%	23%	6%	0%	3.1	0
教員	0%	14%	19%	50%	8%	0%	2.4	△0.4

⑤生徒指導（身だしなみ・交通安全等）の取り組みはどうでしたか

	5	4	3	2	1	未回答	平均値	前年比
保護者	15%	32%	47%	2%	1%	0%	3.6	▼0.1
教員	6%	36%	35%	14%	3%	0%	3.3	△0.2

⑥部活動指導はどうか

	5	4	3	2	1	未回答	平均値	前年比
保護者	19%	23%	46%	9%	3%	0%	3.5	▼0.1
教員	8%	33%	39%	19%	0%	0%	3.8	▼0.3

⑦進路指導（就職・進学・公務員等）の取り組みはどうでしたか

	5	4	3	2	1	未回答	平均値	前年比
保護者	21%	28%	45%	6%	1%	0%	3.6	▼0.1
教員	31%	58%	11%	0%	0%	0%	4.2	△0.4

⑧お子さんの進路活動への取り組みはどうでしたか

	5	4	3	2	1	未回答	平均値	前年比
保護者	16%	26%	46%	11%	2%	0%	3.4	▼0.1
教員	14%	53%	28%	4%	0%	0%	3.8	△0.4

⑨保健活動（健康・安全・衛生等）の取り組みはどうでしたか

	5	4	3	2	1	未回答	平均値	前年比
保護者	21%	27%	40%	3%	1%	0%	3.6	△0.1
教員	39%	53%	8%	0%	0%	0%	4.3	△0.7

⑩個別指導・カウンセリング・特別支援教育等の取り組みはどうでしたか

	5	4	3	2	1	未回答	平均値	前年比
保護者	11%	24%	58%	6%	1%	0%	3.4	▼0.2
教員	22%	50%	25%	3%	0%	0%	3.9	△0.2

⑪各科目（資格取得・ものづくり等）の取り組みはどうでしたか

	5	4	3	2	1	未回答	平均値	前年比
保護者	18%	32%	43%	6%	1%	0%	3.6	▼0.1
教員	22%	52%	19%	5%	0%	0%	3.9	▼0.2

⑫各学年・各クラスの取り組みはどうでしたか

	5	4	3	2	1	未回答	平均値	前年比
保護者	15%	32%	50%	3%	1%	0%	3.6	▼0.2
教員	11%	58%	31%	3%	0%	0%	3.8	△0.2

⑬学校からの様々な情報提供はどうでしたか

	5	4	3	2	1	未回答	平均値	前年比
保護者	24%	30%	38%	7%	1%	0%	3.7	0
教員	33%	56%	8%	3%	0%	0%	4.2	△0.4

⑭意見の集約意見のための取り組みとその後の対応はどうでしたか

	5	4	3	2	1	未回答	平均値	前年比
保護者	13%	26%	53%	2%	1%	1%	3.6	0
教員	22%	56%	22%	0%	0%	0%	4.0	△0.3

三年間を振り返って

三年主任 奥山 靖春



三年生の保護者の皆様、お子様のご卒業おめでとうございます。

これまでの学年運営に対し、ご理解とご協力を頂き、深く感謝申し上げます。振り返れば、修学旅行までは順調な学校生活でした。しかし、昨年感染症拡大防止を理由に二月末突然閉校となり、度重なる再開の延期、四月になっても学校が始まらない事態に、生徒は不安だったと思います。また、学校再開後はマスクに検温と新しい行動様式が求め

られ、授業、部活動共に正解のわからない手探りの活動を続けた一年でした。そんな中、体育祭が開催できた事は救いだったと思います。また、就職試験が一ヶ月遅れ、戸惑いが多い中の進路活動でしたが、第一志望の合格率が八九%と高いことは、自慢して良い成果だと思っています。

生徒達は一ヶ月後、自ら選んだ道に進み新しい生活をスタートさせます。今後は、身に起こる様々な経験を自らの力で乗り越え、更に成長して欲しいと願っています。

保健部より

看護教諭 河村 邦子

昨年三月の新型コロナウイルス感染症拡大による、突然の全国・斉休校から、学校生活が大きく様変わりしました。本校でも、学校行事の日程変更や中止、分散登校等、未経験のイレギュラーな生活が、次第に日常になりつつあります。

このコロナ禍において、生徒の感染を予防するため、本校では様々な策を講じてまいりました。その一つに、登校前の検温・健康観察、マスクの着用があります。特に朝のホームルーム時、健康観察シートを担当職員がチェックし、確実に検温や健康観察が

なされる体制をとっております。



本校から感染者を出さない、広げない〴〵を目標に、全職員・全校生徒で予防に力を入れ、生徒保健委員会を中心に、加湿やマスク着用、手洗いや手指消毒の徹底を呼びかけ、休み時間の換気も行っています。

保護者の皆様には、ご家庭での健康観察やマスクのご準備等ご協力いただき、心より感謝申し上げます。成績表と一緒に送りました、個人情報などの健康観察シート提出状

況をご確認いただき、今後家庭と学校で協力して感染予防に努めてまいりたいと考えております。

全国的に、新型コロナウイルス感染症が拡大し、山形県内も同様の傾向が見られ、安心できる生活を取り戻すまでにはもう少し時間がかかると思われる状況がなかなかに予測できない状況であります。が、万が一の事態においても、クラスター予防とともに、差別や偏見の感染予防にも努めてまいります。ご家庭や地域におきましてもご理解とご協力をお願い致します。

生徒指導部より

報告と御礼

生徒指導部長 赤井芳賀寿

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大という未曾有の危機に直面しましたが、皆様のご支援とご協力のおかげで生徒指導部関係の校務も無事に終えることができました。心より感謝申し上げます。七月開催の生徒総会で決定した今年度生徒会の目標は、「先見之明より自ら良い方向に考えて決断し行動できる力を」でした。県高校総体、若草のみち植栽活動、野球大会全校応援、吹奏楽部および工業専門科に係る各種コンテスト、寒河江神輿の祭典、寒工祭、これらの生徒が輝ける行事がすべて中止となる中で、本校生徒は感染防止対策をしながら充実した高校生活を送るために例年以上に自ら考えて冷静に行動し、人間力を向上させたいと思います。この経験が今後の人生の糧となるよう期待しているところです。最後に、事故や問題行動およびいじめについて今年度も残念ながら撲滅できませんでした。来年度は撲滅させるだけでなく、積極的に生徒会活動を促し、最高の学校行事を実施したいと考えております。これからご協力よろしくお願い申し上げます。

あいさつ

前生徒会長 川越 一吹



こんにちは、前生徒会長の川越一吹です。私は一年前、生徒会長に立候補しました。そして当選し、夢と希望を持ってがんばろうと思っていました。しかし、新型コロナウイルスが流行し、私が公約としていた体育祭、文化祭などの行事を盛り上げるということが難しくなっていました。そんな中でも私は、なんとしてでも開催するために、生徒会や先生と相談をくり返し、友人や先生方のおかげで体育祭を行うことができました。できる限りの感染予防を行い安全に最高の思い出をつくることができました。

私はこの経験で、どんな逆境でも、あきらめずに、考え行動することが大切なのだと思ふことができました。また、生徒会長としてやらなければならぬことも完璧に行い、コロナ禍でも自分の実力を発揮することができたよかったです。

一、二年生のみなさんは、これから新しい生活様式に慣れ、学校内でクラスターを起こさないように気をつけながら生活してください。つらいことや苦しいことを乗り越えれば必ず自分に良いことがあると思うので、それを信じて残りの学校生活を楽しくしてください。

最後に、私を成長させてくれた先生方、友人のみんなに感謝いたします。三年間ありがとうございました。

我がまちのトピックス

令和六年の開校を目指して

新校舎建設委員会 事務局長 松田 浩明

本校は、令和六年四月から新校舎での学びがはじまります。本年は、その工程の中で建設の根本となる実施設計を行う年となっており、現在も設計業者の方と作業を進めているところです。その内容は、各部屋の面積の最終調整、コンセントやドアの場所、各種専門機器のレイアウトなど細部にわたる検討となり、全職員が割り当てられた施設について作業を進めているところです。通常の教育活動のほかにプラスの業務ではあります。職員一丸となり日々頑張っているところです。さて、新校舎建設にあたってはいくつかの設計コンセプトがありますが、その基となる考えは、「共生と共同」だと考えます。人、地域、環境、学び、テクノロジー……私たちは多くの「もの」と「共に」に関わり合いながら生活しています。そのものを無視して生きていくことは難しい社会となっています。それでは、いかに自分自身の人間性や主体性を向上・成長させながらそれらの「もの」と共に生活していけば



イメージ図

よいのか？その実現に向け学び続ける。それを校舎という物的面からアプローチしやすいように考えられたのが今回の新校舎だと考えます。落札は、升川建設グループであり、偶然にも本校の教育後援会と関わりがある方との共同作業となることとなりました。産学の共同により、寒河江市のランドマークとなるような新しいタイプの学び舎にしたいと思い、日々作業に取り組んでいます。



メカトロアイデアコンテストに向けて

メカトロ担当 佐々木裕章

アイディアと技術を駆使して自作したロボットで競い合う「メカトロアイデアコンテスト」に機械科三年生の課題研究班が、全国大会出場を目指して挑戦しました。

今年の競技は、全国大会の開催県である大分県の名所や特産物を取り入れた内容で、地獄エリアや参道（一本橋や一本橋）を乗り越えて、神殿に特産物を奉納するものでした。この難問に、生徒達は就職活動と両立させながら、放課後や休日も登校して、試走と改善を繰り返して根気強く組み上げていきました。

新型コロナウイルスの影響で、大会が中止になったことは残念でしたが、ロボット製作に挑戦してきた生徒達が、ものづくりの難しさや達成感を体感しながら逞しく成長していく姿をみるのができました。



新生徒会として

新生徒会長 折原 琉



このたびは新生徒会長に就任した二年電子機械科の折原琉です。私は

昨年、常任委員として活動しました。常任委員として先輩方と活動をするなかでやりがいや大変さを学ぶことができました。そして自分が先頭に立つて学校をつくっていくたいと思ひ生徒会長になりました。私はこれから「生徒の意見を大切にす生徒会」をつくっていきたくと思ひています。生徒一人一人が心から楽しいと思ひる学校をつくるには生徒の意見がとても大切です。意見をより多く取り入れるために生徒総会の話し合いを活用したり、アンケートを活用していきたくと思ひています。

よりよい学校をつくるために自分が先頭に立ち行動で示していきます。精一杯努力していきますので、どうぞよろしくお願ひします。

活動紹介

吹奏楽部顧問

田中 祐輔

今年度吹奏楽部は、残念ながら一年生が入部せず、二年生四人、三年生四人で活動してきました。人数は少ないですが、皆仲良くとても活気のある部活動です。



進路指導部より

進路指導部部長 鈴木 智夫

進路希望を実現させた三年生の皆さん、内定・合格おめでとうございます。

今年度の進路状況を報告します。三年生の在籍は一〇六名、約七割が就職（公務員含）、三割が進学となっています。今年は新型コロナウイルスの影響で就職選考が一カ月遅れるなど、様々な面で対応に迫られた一年となりました。このような中でも本校では全員の進路内定・合格を得ることができました。

民間就職内定者は六四名、県内が六〇名（九四％）、県外が四名（六％）で、就職希望のほ

ました。準備自体は昨年度の十二月から始めていたのですが、新型コロナウイルスの影響で、三月以降は活動できない状況が続き、活動を再開できたのは五月の下旬からでした。初めての挑戦、本番まで時間が無い、感染症対策もしなければならぬという厳しい状況の中で、生徒たちは本当によく頑張りました。演奏会を無事開催し、成功に終わらずにとができました。やる気・チャレンジ精神さえあれば、人数も前例も関係ないということとを、生徒たちは証明してくれました。

七月十一日、一回戦左沢高校。序盤は互いに連打で点を取り合い、三回を終え三対三。寒上は毎回得点圏に走者を進めるも追加点が入らず六回を終えなお三対三。七回裏の攻撃、



野球部顧問 白崎 謙

山形県高校野球大会

二〇二〇

制球が甘くなり始めた相手投手に襲い掛かる。連続四球と連打、さらには打者・巡の猛攻で一挙七点。一〇対三で初戦を突破した。

殊勲はエースの仁藤、完投勝利と打撃では二回の先制点となる左翼越え三塁打。

十八日、二回戦山形中央高校。初回から相手上位打線が寒上投手の甘い球を見逃さない。失点を重ね序盤から追う

願い

一学年主任 木村 雅善

昨年二月初旬、横浜港に帰港したクルーズ船の乗客の中に新型コロナウイルス陽性者が出たことから、政府は乗客乗員の下船を許可しなかった。ニュースの映像を観ながら何か対岸の火事のような気持ちであった。

しかし、緊急事態宣言が発令され、生活が一変した事で現実を受け止めた。本校でも二月二十八日の学年末考査終了後より長い春休みとなり、二年生の一学期が始まったのは五月の連休明けとなった。例年、本校の二年生は七月にインターンシップ、十一月に修学旅行という大きな行事が計画されていたが、中止もしくは



は延期となった。このような状況下で保護者進路講演会をZOOM・動画で配信、生徒向けに感染対策を徹底した上で就職ガイダンスを実施できたことは有意義であった。

今後の先行きについて不安や心配は山積みであるが、下を向いてばかりはいられない。三年生の四月には具体的に進路の方向性を決定しなければならぬ。これまでしっかりと準備していた者、している者、それそれかと思うが、その時は訪れる。五年後の自分を俯瞰するための仕上げの年。未来をしっかりと見据えて行動していこう。

展開。この試合気を吐いたのは一番川越と二番土田。三回二死から二人の連打で得点。土田は次打席も打ち三打点の活躍。結果は三対一三の敗戦であった。

コロナ禍において甲子園大会が中止となったが山形大会が開催できたことに選手、保護者、OB、顧問一同心から感謝している。